



2008. 3

広報 ENIWA



気づこう、防ごう

介護に
疲れて
いませんか

特集

高齢者虐待



高齢者が家族などから基本的人権を侵害される「高齢者虐待」。今、高齢化社会を迎えた私たちの身近な問題として、増加の一途をたどっています。単に強い者と弱い者という虐待の構図だけでは解決できない多様な原因が秘められている高齢者虐待。今月の特集は、高齢者虐待問題についてお伝えします。

気づこう、防ごう

介護に 疲れて いませんか

特集

高齢者虐待

全国で9800件。 増える高齢者への 虐待件数

高齢者虐待―。こんな衝撃的な言葉が、最近よく新聞やテレビのニュースで目に飛び込んできます。

高齢者虐待は、少子高齢化時代を迎えた今、日本が直面している大きな社会問題の一つです。政府は、増え続ける高齢者虐待の防止と介護する養護者に対する支援等に関する法律「高齢者虐待防止法」を平成18年4月に施行し、高齢者虐待問題の解決に取り組み始めました。

厚生労働省が平成18年に行った高齢者虐待に関する調査結果によると、全国の

■グラフ

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等についての調査結果（抜粋）



1. 虐待者の被虐待高齢者との続柄

- ① 息子(4,229 件)
- ② 夫(1,606 件)
- ③ 娘(1,543 件)
- ④ 息子の配偶者(1,165 件)
- ⑤ 不明(778 件)
- ⑥ 妻(557 件)
- ⑦ その他(532 件)
- ⑧ 孫(491 件)
- ⑨ 娘の配偶者(287 件)
- ⑩ 兄弟姉妹(213 件)

※総件数には複数者による虐待が含まれるため本文中の総数とは一致しない。

2. 虐待の種別・類型 (複数回答)

- ① 身体的虐待(6,340 件)
- ② 心理的虐待(3,520 件)
- ③ 介護の放棄・放任(2,908 件)
- ④ 経済的虐待(2,705 件)
- ⑤ 性的虐待(71 件)



市町村で平成18年度中に受けた高齢者虐待に関する相談・通報件数は1万3965件。このうち実際に虐待を受けたか、または受けたと思われると判断した事例が9884件ありました。また、虐待を受けた人と相手の続柄についての質問に対しては、グラフ1のとおり「息子」が全体の3割を占めるという結果が出ています。恵庭市においてもこうした虐待事例が無いわけではありません。

調査が進むに連れて、少しずつ見えてきた高齢者虐待の実態。しかし、一般的に高齢者虐待は表面化しづらく、これらの調査結果も氷山の一角であると言われています。それは、多くが家族間で起きる問題であることと、当事者双方に、虐

待している(されている)という意識が薄いことが挙げられます。

高齢者虐待は、どの家庭でも起こり得る身近な問題です。核家族化が進む現代社会で、介護が必要な高齢者は、家族がいるのかかわらず、ささいなことがきっかけとなって虐待や人権侵害に
あう可能性があります。このような虐待を未然に防止するために、社会的に解決できる仕組みが必要なのです。

**一人で抱え込まないこと。
介護は支えあい、
虐待を未然に防ぐ。**

人はみな年老いて行きます。高齢者虐待は、決して高齢者だけの問題ではありません。世代の異なる家族がともに暮らし、順番に高齢期を迎える。高齢者虐待は、家庭での家族のあり方や人間関係が複雑に絡んでいることが多いのです。

家族の中に介護を必要とする人がいたり、認知症の症状が現れてきたりすると、それまでの家族の関係性に変化が起こります。多くの人は、家族への介護や認知症の対応に迫られ、初めて知識や技術を学ぼうとするのではないのでしょうか。とりわけ認知症の場合は、人によって症状

高齢者虐待とは

具体的には
次のような行為が
高齢者虐待と
考えられています。

身体的虐待

暴力を振るって、体にあざや痛みを与える。外部との接触を意図的、継続的に遮断する。
(例) 殴る、つねる、蹴る、食事を無理やり口に入れるなど

心理的虐待

脅しや侮辱などの言葉や威圧的な態度、無視、嫌がらせなどで精神的、情緒的苦痛を与える。
(例) 怒鳴る、ののしる、悪口を言う、意図的に無視をするなど

性的虐待

本人が嫌がる性的な行為やその強要。
(例) 排せつの失敗に対する罰として、下半身を裸にして放置するなど

経済的虐待

本人の合意なしに財産やお金を勝手に使う。理由なしに本人にお金を使わせない。
(例) 生活費を渡さない。本人に無断で資産を売却するなど

介護の放棄・放任 (ネグレクト)

家族などが介護や生活の世話をしていない。世話を放棄することによって生活環境や高齢者自身の身体的・精神的状態を悪化させている。



市と地域包括支援センターが中心になり、高齢者虐待問題の解決に取り組んでいる「恵庭市高齢者虐待防止ネットワーク推進委員会」の様子。



がさまざまですから、家族は介護に多くの時間を費やし、介護に振り回されることとなります。家族の介護は自分がしなければと、一人で抱え込んでしまったら、認知症の家族を他人に知られたくないという思いから家の中に閉じ込めてしまったりといった行為に走ってしまうことはよくあることです。

昔は家族の中で問題が解決できたことも多かった。それが難しくなっている今、社会的な支援を受けながら生活していくことは、何も恥ずかしいことではありません。

また、地域の見守り機能も大きな意味を持ちます。国の施策も地域で支えあう体制に期待しています。身近に気になる高齢者がいれば、どんなささいな変化でも見逃さないことが、虐待という悲劇を未然に防ぐ最大の手立てであると考えてほしいのです。

市では現在、市と地域包括支援センターなどの専門機関が、高齢者虐待問題の解決に向けたネットワークを組織して対応しています。次のページでその地域包括支援センターについてご紹介します。

ちょっと一息
お話しませんか。

あなたの街の 地域包括支援 センターです

介護を続けていくことは、
大変な労力と精神力が必要。
でも、頑張っただけじゃ
息切れすることもあります。
たまには一息ついて
おしゃべりませんか。



●話してくれた人(写真左から)
野口泰子さん(恵庭市きた地域包括支援センタースタッフ)
佐藤良江さん(恵庭市ひがし地域包括支援センタースタッフ)
甲斐昌恵さん(恵庭市みなみ地域包括支援センタースタッフ)

地域包括支援センターは、高齢者の総合的な相談窓口として、市が業務を委託して市内3カ所で開設しています。特に高齢者虐待の解決に向けた取り組みとして、現在、市と地域包括支援センターなどの専門機関で組織する「恵庭市高齢者虐待防止ネットワーク推進委員会」が、市内の介護施設などと連携をとりながら対応しています。

介

護のことで悩んでいるけれど、どこに相談したらよいのかわからない人がたくさんいると思います。特に高齢者虐待は、その家族の関係性から生まれてくるものです。昔は苦勞させられたという思いから、その相手が年老いて弱ってきたところで立場が逆転する。突然起きるのではなく、家族の長い歴史の中で、調和が取れていない場合に起きるのだと思います。

相談員のような第三者が介入しづらいのは、家族の歴史を知らないからであり、事実と対象者の見極めが難しいのはこうした家族の背景があるからです。

私たちは業務上、これらの問題を整理するために虐待という言葉を使いますが、「虐待する人＝加害者」ではありません。そこに至るまでには重い介護疲れであるとか、そうならざるを得なかった原因が必ずあるからです。もし、虐待の事実があったとしても一方的に決めつけるのではなく、それまでの経緯をしっかりと把握したうえで、一緒に問題解決への手立てを考えたいと思っています。

高齢者虐待といっても、直接的な暴力から心理的、経済的なものといった目には見えないケースまでさまざまです。そのため、状況に応じた専門的な目をもって判断していきます。

地

域で見守っていただくことも非常に重要です。近所に気になる高齢者がいる。誰かに相談したほうがいいのかもわからないけど余計なお世話と思い、ためらっている人もいます。誰かに話すことで大ごとになってしまったり、責任を感じるからかもしれない。でも、もう少し楽に考えてほしいんです。

「となりのおばあちゃんがね」から始まるおしゃべりでいいんです。市役所の窓口だと勇気がいると言いか、少し身構えてしまうこともあるかもしれません。そんなときは私たちのところで井戸端会議のように話しを聞かせてください。虐待が起きてからではなく未然に防ぎたいのです。「あそこのおばあちゃん、少し疲れてるみたい」とって声を掛けてほしいんです。

プ

口であるはずの介護施設の現場でさえ、悲劇が起きている

介護。それが家の中であれば、24時間気が抜けない状況にいる人も多いことでしょう。もはや、どんな家族でも日々の介護で問題が起きる可能性は否定できません。愛する家族のためには、自分自身がリフレッシュできる時間を持つことも必要なんです。

私たちは、みなさんに気軽に声を掛けていただいて「実はね…」っていうお話を聞かせてもらえるような関係を築いていきたいと思っています。

介護は一生懸命な人ほど周りが見えなくなるもの。それに年配の人ほど他人に知られることが恥ずかしいなどと思いがちです。愛情が結果的に虐待に変わってしまう前に、まわりにいる人が気づいてあげてください。

子どもが生まれて初めて育児をするように、介護も必要になって初めて体験するもの。初めてなんだから分からなくて当たり前です。疲れたら、ちょっと話しを聞かせていただけませんか。

地域包括支援センター 担当地域マップ

地域包括支援センターの相談業務は平日8時30分から17時30分まで。高齢者虐待はもちろん、高齢者の生活や介護のことならどんなことでも気軽にお話してください。
※秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

恵庭市きた 地域包括支援センター

所在地	南島松 6-1 / ☎ 36-5035
担当地区	林田、島松沢、恵み野東、恵み野西、恵み野南、恵み野北、島松寿町、島松仲町、島松東町、島松本町、島松旭町、西島松、南島松、中島松、下島松、穂栄、北島

恵庭市ひがし 地域包括支援センター

所在地	黄金南 5-11-4 / ☎ 35-1071
担当地区	漁太、春日、中央、上山口、戸磯、恵南、和光町、駒場町、白樺町、黄金北、黄金中央、黄金南、相生町、緑町、住吉町、末広町、栄恵町、泉町、桜町、京町、漁町、福住町、新町、本町

恵庭市みなみ 地域包括支援センター

所在地	柏木町 429-6 / ☎ 34-8467
担当地区	有明町、大町、文京町、牧場、盤尻、中島町、恵央町、幸町、柏陽町、柏木町、北柏木町、美咲野

●夜間など緊急時の相談はこちら●

介護福祉課
(☎ 33-3131 内線 1221)

介護体験
を聞く。

介護と言っても、その苦労は実際に経験してみなければなかなか分からないもの。長い間家族を介護してこられた人の体験談を、ここで紹介します。

軽木厚子さん (グループホームスタッフ)

介護から離れて確信した 義父とのきぎずな。



かるき・あつこ (53歳)
平成6年に当時80歳の義父と同居。しかし義父はまもなく認知症を発症、仕事と子育てを両立しながら献身的に介護を続けてきた。平成17年に義父は市内のグループホーム「花いちもんめ」に入居。現在は軽木さんも介護の経験を生かし、グループホームのスタッフとして働いている。

千葉で暮らしていた主人の父を我が家に招いたのは今から13年前、義父が80歳のときでした。義父を迎え入れるために家を増築し、生活のために私も新聞配達やスーパーのパートで働きながら子育てと義父の介護を続けました。厳格な性格で一人暮らしが長かった義父は、同居してからも以前と変わらない生活を送っていましたが、やがて少しずつおかしい行動が目立つようになり、認知症を疑うようになりました。

ある日、義父が近所のゲートボール場の休憩所にバケツと水を持ち込んで洗濯をしていると近所の人から連絡を受けたんです。もちろん洗濯はいつも私がしていました。こうした義父の理解し難い行動は、近所への誤解を生みます。

また、義父の問題行動が原因でそれまで通っていた介護施設に利用を断られ、もうどうしたらいいかわからなくなりました。認知症の人を施設が受け入れてくれなければ、誰が支えてくれるのでしょうか。

ある日、テレビのニュースで高齢者虐待の事件を見て、共感している自分に気がつきました。もう、人として考えてはいけなところまで考えていたんですね。

そんなとき、ある人からグループホームを紹介してもらいました。義父の手を引き、すがる思いでホームの門を叩いた私は、ホーム長に義父の状態やこれまでの施設での行動を隠すことなくすべて話しました。そんな私にホーム長は一言「大丈夫。ちゃんと見守っていきますよ」そう言って、その日から義父を温かく迎えてくれたのです。

義父のいない生活に戻った家族と私。これで自由に行動ができる。もうお風呂だって好きなときに入ることができるよう。介護から開放されて、この10年叶わなかったささやかな自由が私を包み込みました。

何かが吹っ切れた私は、今なら何でもできそうな気がして、50歳で自動車運転免許を取得したんです。そして、自分で運転して真っ先に向かった先は義父のところでした。

た。あれほど苦労をさせられた義父のことが気になって仕方がなかったのです。幸い義父はすっかり施設での生活にも慣れ、状態も以前よりずっと安定していました。

現在、義父は私の顔を見ても誰か分からないことのほうが多いようです。でも、私は義父と離れて暮らすようになって以来、嫁という立場を超えて、母親のような思いで義父と向き合えるようになった気がします。自分の気持ちに素直になって、とても楽になりました。この気持ちこそが、私が義父にずっと届けたかった愛情でした。

介護をする人も、される人も、悔いのない人生を送る権利があります。たとえ認知症が進んでいる人だって、人は人。人格を尊重することが大切なことだと思います。

それを気づかせてくれた義父に感謝しながら、私は今、介護の経験を生かしてグループホームで働いています。

介護の形は一つではない。家族みんなが幸せになれる方法を選べばいいんです。

利用しませんか

主な家族介護支援サービス

高齢者の介護支援を
対象としたサービス
には、市が独自で提
供している次の
サービスがあ
ります。



事業名	内容	対象など
家族介護用品 支給事業	在宅で常時介護を必要とする、おおむね65歳以上の寝たきり高齢者等および4歳以上の重度心身障害(児)者のいる家族に対して、紙おむつや尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤などの介護用品を支給します。	過去1カ月以上紙おむつなどの介護用品を使用していて、利用者および介護者が属する世帯の生計中心者の市民税または所得税が非課税であること。
家族介護者 交流事業	高齢者を介護している家族に対し、介護負担から一時的に解放し介護者同士の交流会などのリフレッシュ事業に参加してもらいます。(例)「息ぬきおしゃべりタイム」、「家族介護者交流会」など。	【息ぬきおしゃべりタイム】 介護している家族や介護に興味のある人 【家族介護者交流会】 在宅で要介護1以上、またはそれに相当する高齢者の介護をしている家族(1家族1人)
介護教室事業	介護方法や介護予防の知識・技術の習得や健康づくりに役立つ介護教室を開催	介護している家族や介護に興味のある人
家族介護者 ヘルパー受講 支援事業	現在、高齢者を介護している家族や、過去に家族を介護をしていた人が、介護の経験を生かしてホームヘルパーとして社会で活躍していただくため、ホームヘルパー研修(2級・3級)を受講した場合に受講料の一部を助成します。	50歳未満の人で、現在高齢者を介護している家族や、過去5年以内に家族の介護をしていた人
徘徊高齢者 家族支援事業	認知症の高齢者が徘徊した場合にその居場所を発見できる位置検索システム(GPS)端末機を給付します。	徘徊の見られる認知症の高齢者を介護している家族 ※端末機にかかる毎月の基本料金および利用料は自己負担

※このほかにもさまざまなサービスがあります。
詳しくは問い合わせください。

虐待を受けている高齢者の多くは認知症があるとされています。
そこで、認知症高齢者がその人らしく尊厳を持って暮らしていくために、認知症についての正しい理解や支援のあり方、適切な対処方法などに関する講演会を開催します。
気づかないうちに虐待行為をしてしまうかも……そんなことを起こさないためにも、ぜひ聞いてください。

3/8

10時~13時(受付9時30分)

市民会館中ホール

講師/和田行男さん(鍼大起エンゼルヘルプ・クオリティマネジャー)



認知症でも、

じじいからんこらんこらん

認知症を知るための講演会

入場
無料

● 紹介します ●

認知症
グループ
ホーム



現在、認知症に対応したグループホームは市内9カ所で運営しています。

グループホーム名	住所・電話番号
だんらん	有明町1-8-8/☎32-6626
すずらんの家	黄金北3-12-6/☎39-2223
すまいる	和光町4-8-1/☎39-3001
恵風	緑町2-12-12/☎34-1922
だんらんこがね	黄金南4-13-1/☎35-4226
ニチイのほほえみ恵庭	黄金南1-21-5/☎39-3081
花いちもんめ	恵み野東7-5-6/☎37-4213
こもれびの家	島松寿町1-16-5/☎36-8477
北のくにから	島松本町4-8-25/☎37-2985

各種サービスやグループホームに関する
問合せ先

介護福祉課

(☎ 33-3131 内線 1221 ~ 1225)

市内自衛隊駐屯地の体制維持・強化について



市の総合防災訓練に参加する自衛隊員。恵庭市の災害では直ちに出勤してくれる頼れる存在だ。

恵庭市には3カ所の自衛隊駐屯地があり、まちづくりを進めるうえでも欠かせない存在となっています。国は平成22年度からスタートする次期中期防衛力整備計画の策定作業に入ろうとしています。市は市内にある駐屯地の体制を維持し、強化していくことが必要であると考えています。今月の焦点は「自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会」の署名活動についてお知らせします。

基地のまちとして58年の歴史を刻む恵庭市

花のまちとして全国に知られるようになった恵庭市ですが、一方では自衛隊駐屯地3カ所を持つ「基地のあるまち」でもあります。戦後、昭和25年に自衛隊の前身である警察予備隊が発足する時、強力な誘致活動を行って旧陸軍北部教育隊跡地に警察予備隊恵庭訓練所が開設されました。その後、保安隊南恵庭駐屯地、北海道地区補給処が次々と開設、昭和29年の自衛隊創設と同時に現在の体制に。基地のあるまちとして、今年で58年になります。

自衛隊のまちづくりに及ぼす影響と効果

自衛隊の駐屯は、戦後の恵庭が飛躍的な発展を遂げる原動力となりました。基地があることによる各種補助金は、学校、会館、道路などの公共施設整備を可能にしました。洪水などの災害発生時には速やかに出勤し、被害を最小限に食い止めてくれます。また、

防衛関係補助事業の状況

区分	具体的事業例
障害防止	土砂流出・用水・洪水対策事業
道路	恵庭駅前通、恵南柏木通、柏木戸磯通
騒音防止	保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校ほか
民生安定	市庁舎、市民会館、図書館、公民館、地区会館、保健センター、学校水泳プール、消防庁舎、除雪施設、農業施設ほか
調整交付金	夜間診療所、火葬場、車両センター、心身障害児訓練センター、スクールバス、福祉バス、救急車、消防車、公園遊具ほか
住宅防音	指定区域内住宅の防音工事助成
基地交付金	固定資産税の代替的性格を持つ交付金

市内3個駐屯地の状況

駐屯地名	面積	人数	主要部隊
北恵庭駐屯地	約41ha	約1,100人	第1戦車群、第72戦車連隊、第101戦車直接支援隊、第2戦車直接支援中隊ほか
南恵庭駐屯地	約93ha	約900人	第3施設団本部及び付隊、第105施設器材隊、第303ダンプ車両中隊、第73戦車連隊、第101施設直接支援大隊ほか
島松駐屯地	約65ha	約1,500人	北海道補給処、北部方面後方支援隊主力、第303・304高射中隊ほか

自衛隊の体制維持・強化を求め る恵庭市民の会設立総会・ 総決起大会

市内自衛隊駐屯地の体制維持・強化を求め、発起人会のメンバーと、趣旨に賛同する団体及び市民のみなさんの参加を期待します。

日時 / 3月26日(水) 19時～

会場 / 市民会館大ホール

※申し込み不要、直接会場へお越しください。

< 発起人会構成団体 >

恵庭市
恵庭市議会
恵庭市自衛隊協力会
恵庭市自衛隊婦人協力会
恵庭市町内会連合会
恵庭商工会議所
恵庭青年会議所
恵庭土地改良区
自衛隊退職者雇用協議会恵庭支部
自衛隊隊友会恵庭支部連合会
全国自衛隊父兄会恵庭支部
道央農業協同組合

(50音順で記載)

次期中期防衛力整備計画への 対応の必要性

東西冷戦の終結もあって、平成16年の現「防衛計画大綱」策定時に北海道の自衛隊の大幅削減案が出されました。この時は北海道自衛隊駐屯地等連

自衛隊員を中心とする人口の増加は商業の活性化を促し、それまでの純農村から次第に消費都市的な様相を強め、自衛隊は地域経済を支える基盤の一つになりました。さらには、隊員の市民としての文化・スポーツ・町内会活動などへの積極的参加がもたらす地域社会への効果も見逃すことはできません。演習による騒音などの問題はありますが、工業団地や住宅団地の開発が進んだ今でも、自衛隊のまちづくりへの期待は大きいものがあります。

絡協議会を設立して「部隊の存続、削減防止」を要望し、組織改変と装備縮小の影響はありましたが、恵庭での自衛隊員の現人数は確保することができました。今、国は平成22年度から始まる次期「中期防衛力整備計画」の策定にかかろうとしています。市内に駐屯する部隊の削減の可能性は否定できません。

先に述べたように、恵庭市において自衛隊の存在は大変大きいものがあります。3個駐屯地、約3500人の隊員とその家族、OBを含めると市の人口の約2割を占めます。自衛隊の削減がまちづくりに及ぼす影響は計り知れず、極めて重大な問題と言わざるを得ません。このため、恵庭市として独自の要望活動を実施する必要があると判断したのです。

自衛隊の体制維持・強化を 求める1万人署名活動

冷戦は終結しても、世界各地で紛争は絶えません。恵庭市は、人口190万人を有する道都札幌市と、空港のある千歳市に隣接する地政学上重要な位置にあり、北海道の防衛戦略上の要と言えます。市内においては別表で示したとおり、市政や地域に及ぼす影響力は大きく、恵庭市における自衛隊の重要性はいささかも揺るぎません。

このため、市は市内12団体を中心に「自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会」を設立することを決め、1万人を目標に署名活動を進めることになりました。市民の会設立発起人会のみなさんが署名活動を実施しますので、ご協力をお願いします。



問合せ先

総務部

基地・防災課

(☎ 33-3131 内線 2240)



2月5日、市民会館で開催された「自衛隊の体制維持・強化を求める恵庭市民の会設立準備会」の様子。

自衛隊の市政、地域へ及ぼす影響

- 経済的波及効果 / 約350億円(生産、消費、誘発波及係数で試算)
- 防衛施設周辺整備事業 / 約14億4千万円(平成18年度実績、住宅防音経費を除く)
- 個人市民税 / 約5億6千万円(自衛官の納付額、市全体の約19%)
- 千歳について平均年齢の若い市 / 隊員の中学生以下の子ども数(約1,900人)
- 献血 / 恵庭市全体の約50%
- 市行事等への支援 / 年間27回
- 町内会およびボランティア等への貢献 / 町内会役員ほか約150人

ウキウキ・ウォッチング

広報見聞録

まちのできごと

[1/29 ~ 2/21]

- 1月 29日 ■「千歳川を語るついでin 恵庭」が市民会館中ホールで開催され、千歳川流域に住む人の暮らしや歴史などについて、歴史作家の合田一造さんによる講演やパネルトークが行われた。
- 2月 2日 ■島松仲町少年防火クラブが、消防署島松出張所で「防火教室」を開催。9人の子どもたちが参加し、ストレッチャー体験や水消火器での消火訓練などを行った。
- 4日 ■島松小学校児童会が、児童が集めた空き缶や牛乳パックで購入した車いす1台を社会福祉法人「いちほつ会」に寄贈した。
■北海道文教大学の学生4人が、食に関心を持ってもらおうと、食をテーマにした手作りの布絵本を恵庭幼稚園に寄贈した。
■恵庭中学校の1年生222人が、学校や市内の福祉施設で要約筆記や手話などのボランティア体験を行った。
- 10日 ■第16回全珠連千歳地区珠算競技大会が市民会館大会議室で行われ、市内外から集まった幼児から高校生までの95人が参加。学年や種目別に腕前を競った。
- 12日 ■恵庭市職員ボランティアサークル「シボラ」と住吉町内会の自主防災会のメンバーが合同で町内の高齢者世帯の除雪作業を行った。
- 13日 ■パークゴルフ愛好者の会「駒場クラブ」が室内パークゴルフ交流会を駒場体育館で開催。15人が参加し、和気あいあいとプレーを楽しんだ。
- 16日 ■恵庭市花いっぱい文化協会が第41回花壇コンクールの表彰式を市民会館大会議室で行い、最優秀賞には一般の部で恵南文化村、学校の部は恵み野中学校が選ばれた。
- 18日 ■和光小学校の児童がリングブルを集めて交換した車いすを恵庭市社会福祉協議会に寄贈した。
- 19日 ■恵み野中学校の2年生150人が、読書習慣をつける活動の一環として、恵み野小学校と恵み野旭小学校の1・2年生に絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。
- 20日 ■鯖アレルフの環境教育「ナタネプロジェクト」に参加した島松小学校の5年生40人が、自分たちで育てたナタネから採れた油を使い、調理体験を同校で行った。
- 21日 ■市内の川で30年以上にわたり、ヤマメの稚魚の放流活動を行ってきた「恵庭山女魚を守る会」が、当初の目的を達成したとして会を解散した。
■恵庭美術協会主催の「恵美展」が夢創館で開催。川をテーマにした油彩や水彩など41点が展示された。(～24日)



2/24

決意を胸に。『壮行激励会』

自衛隊の入隊を祝って恵庭市自衛隊協力が主催する『壮行激励会』が市民会館中ホールで開催された。来年度、入隊予定の48人や父母、来賓が出席し、入隊予定者を代表して、藤掛哲平さんが国防に携わる者としての熱い決意を述べた。



2/23・24

慎重に投球。『カーリング』

青少年研修センターが主催する「恵庭子ども塾」が同センターで開催され、チャレンジスキー教室のプログラムの一つとしてカーリングを屋内で楽しむ『カーリング』が行われた。スキー教室は、暴風雪のためやむなく中止となったが、カーリングを楽しむ子どもたちの歓声が体育館に響き渡っていた。



2/16

島松小学校コミュニティスクール『みそ造り』

島松小学校コミュニティスクールの『みそ造り』が島松小学校で行われた。親子など30人が参加し、自分たちで育て収穫した大豆を原料に、みそ造りに挑戦した。粉碎した大豆にこうじと塩を一生懸命に練りこみ、下準備が完了。11月には手作りみそが楽しめるという。



2/17

雪上の熱い戦い。『恵庭クロスカントリースキー大会』

青空に恵まれたこの日、畜産共進会場で『第20回恵庭クロスカントリースキー大会』が開催された。今年は20回を記念して、前日にクロスカントリースキークリニックが開催される予定だったが、大雪のため残念ながら中止となった。大会は、距離競技の部、歩くスキーの部、リレーの部に大会史上2番目となる1,171人もの選手が参加し、真っ白なコースで熱い戦いを繰り広げた。会場内では、暖かい豚汁や甘酒が振る舞われ、競技を終えた選手や応援に駆けつけた人が冷えた体を暖めていた。



2/23

拡大版だよ!『あそぼうひろば』

子育て支援センターが主催する『あそぼうひろば』が市民会館中ホールで開催された。このイベントは子育て支援センターが定期的に開催している『みんなの広場』の拡大版。会場には多くの親子が訪れ、北海道文教大学の学生らによるYOSAKOIソーランが披露されると、子どもたちもリズムに乗って一緒に踊ったり、おもちゃや風船で遊んだりしながら親子の触れ合いの時間を楽しんでいた。

暮らしのお知らせ



生活習慣を改善するために

メタボ撃退講座

保健

日時 3月13日(木)、18日(火)、27日(木)各日9時30分～12時

会場 保健センター

内容 エクササイズと肥満防止の調理実習

講師 山田泰子さん(フィットネスインストラクター)

対象 69歳までの人で、生活習慣を改善して腹囲を減らしたい人
申込方法 事前に電話で申し込み

問合せ・申込先 保健センター(☎37・4121)

生まれ!新小学一年生

プレススポーツスクール

募集

日時 3月12日(水)～14日(金)各日15時30分～16時30分

会場 総合体育館格技室

内容 とび箱、からだあそびほか
対象・定員 新小学一年生、20人

参加料 1000円
申込方法 3月3日(月)以降の平日

9時～17時に電話で申し込み
持ち物 上靴、運動しやすい服装
問合せ・申込先 スポーツ課(☎32・2262)

あなたのこころは疲れていませんか こころの健康づくり講演会

保健

日時 3月19日(水)18時～20時

会場 保健センター

テーマ ストレスと健康

講師 本田稔さん(本田記念病院副院長)

その他 事前に申し込みが必要
問合せ・申込先 保健センター(☎37・4121)

あなたの勇気で救われる命 普通救命講習会

催し

日時 3月23日(日)13時～16時

会場 有明会館

内容 応急手当の必要性、心肺蘇生法、止血法、自動体外式除細動器(AED)の使用法ほか



対象 中学生以上の市民、または市内に通勤・通学している人
定員 30人程度

その他 講習会修了後、普通救命講習修了証を交付します。

問合せ・申込先 救急指令課(☎33・0992)

資格を生かしませんか 臨時保育士の登録

登録

募集内容

職	種臨時保育士
賃	金 月額6530円
資	市内在住の保育士資格を有する満61歳未満の人 ※平成20年4月1日現在
処	社会・雇用保険/有、通勤手当/有(正職員に準じる)
採用期間	6カ月 ※更新継続あり
勤務時間	・1日7時間45分 ・月々土曜日の勤務で4週8休
申込方法	履歴書(写真貼付)、資格を証明するものを持参

楽しい読み聞かせ

3月のおはなし広場

図書館

日時・会場・出演

日	時	出	演
4日(火)11時	～	読みかかせの会	ばたぼん
5日(水)11時	～	ぱべつとグース	
7日(金)14時30分	～	おはなしさんた恵夢	
12日(火)11時	～	おはなしパンブキン	
14日(木)14時30分	～	おはなしさんた恵夢	
18日(火)11時	～	読みかかせの会	ばたぼん
19日(水)11時	～	図書館職員	
26日(水)11時	～	おもちゃばこ	
13日(木)15時	～	ストーリーショップ	
12日(水)15時	～	おはなしのぼうけんエルマー	

定員 各回30人 ※午前開催のみ

のは乳幼児も可

問合せ先 図書館本館(☎37・2181)

☎33-3131 所
☎36-8324 支所
☎36-8200 出張所
☎33-3681 出張所
☎33-3171 市民会館
☎32-2261 総合体育館
☎33-5191 消防本部
☎37-2181 図書館(本館)
☎37-4121 保健センター
☎37-4085 夜間急病診療所
☎33-5000 夜間急病電話案内
☎35-4664 防災行政無線案内
☎33-3191 消防火災案内

2月に図書館に新しく入った本

■文芸書

新・御宿かわせみ	(平岩 弓枝)
そうか、もう君はいないのか	(城山 三郎)
鬼神の狂乱	(坂東真砂子)
5年3組リョウウタ組	(石田 衣良)
こころげそう	(島中 恵)
ワンちゃん	(楊 逸)
魔女の盟約	(大沢 在昌)
相棒	(五十嵐貴久)
藪枯らし純次	(船戸 与一)
朧夜ノ桜	(佐伯 泰英)
オヤジの細道	(重松 清)
ダンシング・ヴァニティ	(筒井 康隆)

■一般書

生活保護vsワーキングプア	(大山 典宏)
2時間でわかる問題なニッポン	(鳥越俊太郎)
病気になる生き方(3)	(新谷 弘美)
ときめき老後術	(上坂 冬子)
がんはなぜ生じるか	(永田 親義)
定年後をどう生きるか	(杉尾 浩一)
札幌上等なランチビュッフェ	(カルチャーランド)
心の貌	(柳田 邦男)
田中将大	(黒田 伸)
冤罪弁護士	(今村 核)
大人の投資入門	(北村 慶)
徳川家康(天下人への跳躍)	(新人物往来社)



わたし **能正 彩良** です

「わたしね アンパンマンと プリキュア・ファイブが だいすき。でもね おねえちゃんも もつと だいすき。いつも いろんな えほんを よんでくれて ありがとう。またよんでね。はやく ようちえんから かえってこないかな。」

お父さん 慎さん	お母さん 朋子さん
◆誕生時の身長・体重	48.0cm 3,016g
◆平成18年10月31日生まれ	
◆次女	1歳5カ月

おかあさんからひとこと



「お姉ちゃんがよく面倒を見てくれるので、うれしいですね。黙っていても、着替えやオムツ替えもしてくれます。お姉ちゃんが幼稚園から帰ってくると、後を追ってまねしようと頑張ってます。姉妹仲良く、元気に育ってほしいですね」

教育相談

日時 3月13日(木)10時～16時
会場 市民会館市民相談室
対象 市内に住む小・中学生、高校生、またはその保護者
相談員 小林亜希子さん(臨床心理士)
問合せ・申込先 少年育成センタ
1(☎33-3131内線1734)
平成20・21年度の受け付けです
小規模 修繕契約 希望者登録制度 申請
対象 市内の小規模事業者 ※恵庭市競争入札参加資格者を除く
業種 土木、建築、内装、設備、造園、塗装、ガラス工事ほか
必要書類 契約課に備え付けの市

相 談

指定用紙に次の書類を添付して申し込みください。

- 市税の閲覧に関する同意書
- 個人市民税、法人市民税、固定資産税(都市計画税)、軽自動車税、国民健康保険税、特別土地保有税
- 資格、許可などを証明できる書類
- 登録を希望する業種に、資格や許可が必要なものは、それを証明できる書類の写し
- その他必要な書類

申請期限 毎月20日
問合せ・申込先 契約課(☎33-3131内線2251)

原語で絵本を読もう

BALLOONおはなし会

図書館

日時 3月12日(水)16時～17時
会場 図書館本館おはなしのへや
問合せ先 図書館本館(☎37-2181)

一緒に作りませんか 観光計画 子ども版作成委員会 募集

対象 小学生以下の子どがいる18歳以上の市民で、ボランティアで参加できる人
募集人数 2人
任期 4月～平成21年3月31日
内容 観光を通じて恵庭をもっと知ってもらうため、小学校3年生から理解できる観光振興計画の子ども版を作成します。
応募方法 問い合わせください。
応募期限 3月14日(金)
問合せ・応募先 商工振興課(〒061-1498京町1/☎33-3131内線3331、FAX 32-0261)
メールアドレス syoukoushinkou@city.eniwa.hokkaido.jp

募集 恵庭市 非常勤職員

問合せ・申込先 職員課
(〒061-1498恵庭市京町1 ☎33-3131内線2221)

- 受験資格がない人/①成年後見人または被保佐人 ②禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、または執行を受けることがなくなるまでの人 ③市内に居住していない、またはできない人
- 処遇等/社会・雇用保険有り(2種を除く)、通勤手当有り(正職員に準ずる)、賞与無し
- 任用期間/平成20年4月1日～平成21年3月31日
- 試験日時/3月14日(金)13時30分～ ※15分前に集合
- 試験会場/市民会館中会議室
- 試験方法/適正試験、面接試験 ※筆記用具持参
- 申込期限/3月7日(金) ※土・日曜日を除く
- 必要書類/履歴書(市指定用紙～職員課、支所・出張所に備え付け)、資格・免許を証明できる書類(写し)、普通自動車運転免許(オートマチック限定を除く)の写し

【募集内容】

職種	賃金	採用人数	年齢・資格要件	業務内容、労働時間	勤務内容の問合せ先
1 道路維持作業員	月額 161,800円	1人	普通自動車運転免許、第1種大型特殊自動車運転免許を取得している満55歳未満の人	業務内容▶道路補修、除排雪業務ほか 労働時間▶週29時間勤務	建設部管理課(内線2412)
2 高齢者訪問相談員	日額 8,010円	1人	保健師、看護師のいずれかの資格を有し、普通自動車免許を取得している満61歳未満の人 ※看護師資格者は日額7,720円、市外居住者可	業務内容▶高齢者の訪問指導業務 労働日数・時間▶週2～3日程度、8時45分～17時15分(半日勤務有り)	保健センター(☎37-4121)

※年齢は平成20年4月1日現在。資格要件は平成20年3月31日現在で、見込みを含む。

募集します

男女共同参画審議会委員・男女共同参画推進員

男女共同参画基本計画に基づく個別計画などの審議と、男女共同参画の仕事を手伝っていただける人を募集します。

- 応募資格 市民、または市内に通勤・通学している20歳以上の人(推進員はボランティアで参加できる人)
- 募集人数 いずれも若干名
- 任期 4月から2年間
- 申込方法

男女共同参画審議会委員▶氏名、住所、年齢、職業、電話番号、性別、職歴、活動歴を明記のうえ、「男女共同に関する考え方」を800字程度にまとめ提出ください。後日、選考会で書類審査します。
男女共同参画推進員▶氏名、住所、年齢、電話番号を明記のうえ、「推進員としてやりたい仕事」を200字以内でまとめ提出ください。(烏松支所、恵み野・中恵庭出張所でも受け付けします)

- 申込期限 3月21日(金) ※郵送必着

問合せ・提出先
総務課(〒061-1498京町1 / ☎33-3131内線2212)

情報

スポーツ指導者 研修講座

●問合せ・申込先●
スポーツ課
(☎32-2262 / ☎32-2263)

日時・内容ほか

3月8日(木)10:00～11:30

【実技・講義】「ニュースポーツ・ゴルフポッカ～雪上パークゴルフ感覚の新スポーツ」

講師▷小田史郎さん(北翔大学准教授)

※屋外で行います。動きやすい服装でお越しください。

3月14日(金)19:00～20:30

【講義】「地域スポーツ指導者の役割～サードエイジは可能性の時代」

講師▷石澤伸弘さん(北翔大学准教授)

3月19日(水)19:00～20:30

【講義】「スポーツの振興施策について～浦和レッズや北海道日本ハムファイターズを例に」

講師▷永谷穂さん(北翔大学准教授)

会場▷総合体育館研修室および前庭

対象▷スポーツ関係指導者、スポーツ団体のリーダー、スポーツに関心のある人

参加料▷無料

申込方法▷3月7日(金)までに電話またはファックスで氏名、電話番号、指導種目、指導対象をお知らせください。

その他▷上靴を持参ください。

～掲載について～

記事の締め切りは、1日号が前月の12日、おしらせ版が前月の末日です。また、このコーナーには、発行日から5日間程度期間をおいた情報を掲載しています。

タウン情報

頭痛の原因を知ろう！ 市民が創る健康塾

日時 3月16日(日)14時～

会場 恵庭R.B.パークセンター

ビル研修室

講演 『頭痛について』

講師 福田博さん(恵み野病院)

脳神経外科部長)

参加料 500円 ※高校生以下は無料

問合せ先 本多(☎37・2728)

シーズン最後の集いです 第5回市民歩くスキーの集い

日時 3月8日(土)、受付▼10時

30分、スタート▼11時

会場 サッポロビール北海道工場

場歩くスキーコース ※レス

トラン駐車場に集合
参加料 無料 ※納会参加者は1000円

申込方法 当日会場にて受け付け

問合せ先 加藤(☎36・3030)、江尻(☎36・5807)

早期発見と適切な治療のために 平成19年度神経難病講演会



日時 3月27日(木)13時30分～15時30分

会場 千歳市総合福祉センター

402号(千歳市東雲町2-34)

講演 『神経難病の早期発見の

ポイントと医療機関のかかり方』

講師 磯部千明さん(千歳第一病院神経内科部長)

申込方法 3月24日(月)までに電話で申し込み

問合せ・申込先 千歳保健所健康推進課(☎23・3175)

社交ダンスを始めませんか 島松ダンス愛好会

一緒に社交ダンスを楽しみませんか。初心者も大歓迎。

日時 毎週木曜日18時30分～21時30分

会場 島松公民館

会費 月額1500円、入会金1000円

問合せ・申込先 丸山(☎36・8905)、森本(☎36・5097)

一緒に考えませんか 不登校などの『未来の会』 子供と共に歩む会

日時 3月10日(月)18時30分～21時、28日(金)10時～14時

会場 福祉会館

参加料 300円

問合せ先 近藤(☎33・4663) ※手紙は河端美恵

子宅(☎061・1447福

住町1・10・6)まで

会員も募集しています アルプス乙女 姫りんご栽培せん定講習会

日程 3月16日(日)

会場・内容・時間

■午前の部(せん定の技術指導)

○郷土資料館▼9時

○図書館本館▼10時

○消防本部▼11時

■午後の部(施肥と病害虫の防除、栽培技術と管理、姫りんごの試食、写真展示ほか)

○恵庭R.B.パークセンタービル交流展示室A▼13時30分

その他 当日、苗木購入の申し込みを受け付けます。

問合せ先 恵庭アルプス乙女姫りんごの会/柴田(☎090・7650・3117)

あなたの作品を展示しませんか テンパウンドカフェ無料スペース

管理釣り場「テンパウンド」のカフェでは、作品を展示するスペースを開放しています。自慢のアート作品を展示しませんか。詳しくは問い合わせください。

展示貸出期間 1週間単位

展示時間 9時～

使用料 無料

その他 作品の搬入や管理などは、主催者が行ってください。

問合せ・申込先 管理釣り場テ

ンパウンド/鈴木(☎29・3355)

琴の音色を楽しませんか 大正琴「ロビーミニコンサート」

日時 3月16日(日)10時

会場 キャッスル恵庭

問合せ先 大正琴恵庭会/長谷川(☎33・4266)

心身の健康に ヨガサークル「リラの会」

日時 毎週月曜日10時～11時30分

会場 有明会館

定員 5人

会費 月額2500円

問合せ・申込先 竹内(☎34・4266)、鈴木(☎33・0356)

子育てママ集合！ 手作りフェスタ

日時 3月11日(火)10時～15時

会場 鈴木宅(恵み野東2・2・12)

内容 手作りの布小物やぬいぐるみ、幼稚園グッズの展示、

子どもの遊び空間ほか

問合せ先 鈴木(☎090・5987・2376)

歴史や文化にふれて学ぼう
平成20年度 中国語講座



日時 毎週土曜日、初級コース
▼18時30分～20時30分、中級コース▼13時30分～15時30分
※月4回開催
会場 まなび館
講師 北海道文教大学大学院留
学生
受講料 大学生・一般▼月額2
500円、高校生▼月額20
00円、中学生▼月額150
0円 ※テキスト代として別
途2000円程度必要。中学

えにわ まちある記

市長コラム<第16回>
ティマル市長

どう考えてみても、釣り合いが取れない。どう見ても、旗色が悪かった。相手のアネア市長は女性で美人ときている。背も高くとても見栄えがする。明るいし、スピーチも上手だ。

対する私といえば、やせていてどこか頼りなく、年齢も60歳を超え白髪だらけだ。どうみても風采(ふうさい)は上がらない。ユーモアを交えた話などは不得手中の不得手だ。馬子にも衣装ということもあるかもしれないが、そんなことでは到底勝負になるまい。どうしたらよいのだろう。ニュージーランド・ティマル市との姉妹都市調印式を前に、考え込んでしまった。

そこで私は英語でスピーチすることを思い立った。日本に来た外国人が、片言でも日本語であいさつしてくれると、とても親しみを感じたりする。そこに挑戦してみようということなのだ。

もとより英語など話すことはできない。外国人と出会うと、なるべく目立たぬようにして、視線が合わないようにして、ひたすら会話をしなくても良いように振る舞う。それが私のこれまでの“生き方”だったのだ。そんな私でも一生懸命に話すと、きっと喜んでくれるのではないか。へたくそだからこそ得ることが出来る共感もあるはず。

日本語の原稿を作り、翻訳してもらった。話すのに15分くらいかかる原稿になった。それから必死に読む。しかし、文章は長く、発音が難しい。辞書を引きながら発音を確認するが、どうも怪しい。恵庭を出てからティマルに到着するまで21時間かかった。その間、繰り返し原稿を読んでいく。

到着するとまもなく姉妹都市調印式が始まって、すぐに私の出番は来た。ただでさえ上がるのに、英語で話すのだから、胸は高まるばかり。必死に「ゆっくり、はっきり」と言い聞かせながらスピーチした。

終わったときはほっとし

てしまい、反応を確かめる余裕もなかった。スピーチの内容をわかっ

てもらえたのだろうか、はなはだ心もとない。

でもとにかく一生懸命だった。

中島興世



2008年
恵庭集會 国際女性デー

生を受講は保護者同伴
申込期限 3月25日(火)
問合せ・申込先 恵庭日中友好
協会事務局/斉藤(☎33・2
702)
貧困を考える講演会を開催します
医療難民、ネットカフェ難民
など一緒に考えませんか。
日時 3月8日(土)13時30分
会場 有明会館
講演 『とどけ母の願い 生存
権裁判から』
講師 細川久美子さん(全国生
活と健康を守る会連合会副会
長)
参加料 500円(資料代)
問合せ先 樋口(☎33・2076)

花を愛しガーデニングを楽しく
花のまちづくり講演会・交流会

日程 3月22日(土)
会場 恵庭RBパークセンター
ビル視聴覚室
内容
■第一部/花のまちづくり講演
会
開演▼13時
講師▼吉谷桂子さん(英国園
芸研究家)
参加料▼無料
■第二部/恵庭のガーデナーと
花好き達の交流会
開演▼15時
参加料▼500円(茶菓子代)
申込方法▼3月10日(月)までに
申し込みください。
申込先▼内倉花カフェき
ろつと内/☎36・4561
問合せ先 花と緑の課(☎33・
3131内線2524)・内倉

輝け! えにわっ子 恵庭子ども塾

おもしろ理科実験教室

日時 3月15日(土)10時～12時
※受付/9時40分～

会場 青少年研修センター

対象・定員 小学生/20人 ※保護者の参加可

内容
・空気が主役の実験
・静電気が主役の実験
・水が主役の実験

参加料 100円 ※当日徴収

持ち物 上靴、飲み物、筆記用具

申込方法 3月11日(火)までの9時～17時の間に電話
で申し込み

問合せ・申込先

青少年研修センター(☎33-2766)

(花カフェきろつと内/☎
36・4561)
アットホームな雰囲気学ぼう
えにわサロン
日時 毎週水曜日15時～15時40
分

会場 鎌田宅(黄金南3・20・
6)
内容 歌、ダンス、絵本の読み聞
かせ、季節のパーティーほか
対象 4～6歳の幼児
会費 月額3500円
問合せ・申込先 鎌田(☎35・2
525)

・情・報

タウン情報

スノーフェスタ2008

3月2日(日)9:00～市民スキー場

イベント

- スキー・スノーボード大回転競技 ※当日受付可
- 小学生以下の児童大回転競技 ※当日受付可
- 恵庭スキー連盟によるスキー・スノーボードのデモンストレーション
- 無料レンタルスキー・スノーボード ※サイズに限りがあります。
- チューブスライダー
- 毛かきがあたる抽選会
- スノーモービル体験

入場無料

- パラエイト見学
- 歩くスキー体験 ※レンタルスキーあり
- 宝さがし

屋台コーナー
焼き鳥、そば、フランクフルトほか

リフト1日乗り放題券
中学生以上 / 1,000円
小学生 / 500円

問合せ先 恵庭スキー連盟 / 川原(☎33-3770)

えにわ市民プラザ・アイ

日時	内容
3月6日(木) 11時～13時	春のポットアレンジ
3月9日(日) 11時～13時	春のプチブーケ

会場 えにわ市民プラザ・アイ
ル(本町110)

講師 田中利香さん
定員 各回6人

参加料 春のポットアレンジ▼
3150円、春のプチブーケ▼
4200円(材料費)

えにわ市民プラザ・アイ主催
フラワーアレンジ講習会

贈り物にぴったりのプチブーケやポットアレンジを作ります。男性や初心者の方の参加も大歓迎。ホワイトデーの贈り物に、ぜひ作ってみませんか。

日時・内容

国際空手道円心会館

空手を始めませんか

持ち物 濡れたおしぼり、持ち帰り用の袋

申込期限 開催日の前日までに申し込み

問合せ・申込先 えにわ市民プラザ・アイ(☎39-3355)

日時 毎週土曜日16時～17時30分、毎週日曜日14時～15時30分

会場 総合体育館

その他 会費など、詳しくは問い合わせください。



問合せ・申込先 鈴木(☎090-2871-7071)

洋らんを楽しむ
洋らんフェスタ2008 in 恵庭

日時 3月21日(金)～23日(日)各日10時～17時

会場 恵庭R&Bパークセンタービル

内容

- 洋らんの作品展示
- 講習会
- アレンジ押し花

日時▼3月21日(金)～23日(日)各日13時30分～15時

参加料▼1000円(材料費)

- 洋らん愛好家・専門家による洋らんの育て方

日時▼3月21日(金)～23日(日)各日11時30分～13時

講演会「北海道の食と花そして洋らん」

日時▼3月22日(土)10時30分～11時30分

講師▼星澤幸子さん(料理研究家)

■洋らんの人気投票

気軽に観てください
「和の手紙」作品展

日時 3月12日(水)～23日(日)各日10時～17時 ※水・木曜日は

問合せ先 恵庭オーキッド倶楽部事務局 / 今井(☎32-5756)

テーマは「防犯」
安心安全・福祉の「まちづくり」研修会

日時 3月19日(水)13時30分～16時45分

会場 市民会館中ホール

内容

- 講演「地域のつながりで防犯力を高めよう」
- 講師▼日本ガーディアン・エンジェルズ札幌支部
- 事業報告「近所の底力く安心・安全なまちづくり」
- 報告者▼北柏木町内会
- 事業紹介「恵庭市の保健・福祉の取り組みをご紹介」
- 報告者▼保健センター

有機栽培で野菜を作ろう
えにわ市民農園

期間 4月29日(火)～11月中旬

会場 えにわ市民農園(恵南37)

入園料 1区画(100㎡)▼
10000円 ※半区画より入園可、有機肥料は無料

問合せ・申込先 鍋島(☎33-4803)

開催します
平成19年度ひきこもり講演会

日時 3月18日(火)13時30分～15時30分

会場 千歳市総合福祉センター

20時まで。月曜日および20日(休)は休館

会場 図書館本館ギャラリー

内容 会員の作品約40点の展示

問合せ先 和の会 / 平井(☎36-8057)

Cafe'ライブ

ピアノ&バイオリン
ティータイム
コンサート

3月29日(日)15時～

会場 夢創館Cafe'コーナー

定員 / 30人

入場料 / 1,500円

問合せ先

夢創館 / 因幡(☎36-6050)
モデラート野村(☎28-1554)

タ・ウ・ン

みんなの伝言板

開催します。 『食品衛生責任者実務講習会』

食品営業施設の許可を受けている営業者は、許可の更新前に食品衛生責任者に対し、実務講習を受講させることが必要です。平成20年度の開催日をお知らせしますので、必ず受講ください。

日時 4月23日(水)、6月25日(水)、9月17日(水)、11月19日(水)、1月28日(水)各日14時～16時

会場 千歳市民文化センター (千歳市北栄2-2-11)

申込先 千歳地方食品衛生協会 (千歳保健所内/千歳市東雲町4-2/☎23-0619)

問合せ先 千歳保健所生活衛生課(☎23-3175)

生命保険セミナー 『マネープラン講座』のご案内

日時 3月9日(日)13時～15時

会場 市民会館小会議室

定員 10人

参加料 無料

申込期限 3月7日(金)

問合せ先 阿部 (☎090-1387-6441)

演習通報

危険ですから、演習場内には立ち入らないでください。

陸上 3月1日、6日～7日、10日～15日(7時～20時)、2日(10時～20時)

問合せ先 基地・防災課 (☎33-3131内線2242)

無料・無償が条件です

みんなの譲り合いコーナー

【譲ります】

申し込みは3月6日(水)9時～10時の間に電話で申し込みください。※応募多数の場合は抽選により決定します。

■恵北中学校男子ブレザー(S) ■ひな人形(7段飾り) ■スキー靴(25.5cm・27cm) ■スキー板、ポール(160cm) ■五月人形(3段飾り) ■五月人形(ガラスケース付きかぶと飾り)

【譲ってください】

申し込みは随時受け付けています。

■マージャン牌 ■キーボード(電子楽器) ■自転車(大人用) ■歩くスキー式(板170cm・靴23cm・板170cm・靴26.5cm、靴25.5cm以上) ■スキー板(大人用・140cm) ■靴箱 ■恵庭北高校女子制服一式(160cm) ■チャイルドシート ■FF式灯油ストーブ ■火鉢 ■蓄音機 ■スピードスケート(16cm・17cm・20cm・24cm・25.5cm) ■恵庭中学校男子制服一式(150cm) ■アイスドリル ■二段ベッド ■ワッフルメーカー ■千歳北陽高校女子制服一式(M～L) ■恵庭南高校女子制服一式(160cm以上) ■スノーボード(幼児用) ■ルームランナー ■ペーパーベッド ■電動丸のこ(台付き) ■恵み野中学校ジャージ(160cm) ■恵み野中学校カバン ■札幌日大高校開襟シャツ・ワイシャツ(185～190cm)

問合せ先 廃棄物対策課 (☎33-3131内線1133)

あまった生地や古布を再利用
パッチワークと和のキルト展

日時 3月15日(土)までの各日10時～16時

会場 たけやま書店ギャラリー (漁町99)

内容 大型タペストリー、和の

会場 中島会館

参加料 3000円

その他 開催日の前日までに申し込み

問合せ・申込先 藤原(☎090・28740747)、堀(☎090・70513868)

日時	内容
3月12日(水) 10時～12時	バッグアレンジ
3月26日(水) 10時～12時	レースフレームアレンジ

402号(千歳市東雲町2・34)

内容

講演「ひきこもり地域で支えられ、家族・当事者ができること」

講師 ▼蔵本信比古さん(室蘭工業大学准教授)

・体験報告(当事者からのメッセージ)

申込方法 3月14日(金)までに電話で申し込み

問合せ・申込先 千歳保健所健康推進課(☎23・3175)

キルト、トートバッグ、巾着ほか50点以上を展示

問合せ先 山田(☎32・5925)

枯れない花のアレンジをしよう
フリザワード体験講習会

日時・内容

ママのしゃべり場

日時 3月10日(月)13時30分～15時



子育てを応援！ 子育て支援センター

春に咲く山野草の写真展

国京潤「スプリング・エフェラル」写真展

日時 水曜日を除く3月31日(月)までの各日11時～17時

会場 おうちカフェ・メイミーズ(上山口580・2/黒氏牧場内ログハウス)

問合せ先 おうちカフェ・メイミーズ(☎39・4233)

恵庭北高校吹奏楽部 第21回定期演奏会

3月23日(日)

開場13:30～
開演14:00～

市民会館大ホール

入場料500円
※小学生以下無料

【第1部】オリジナル・ステージ
・インチョン
・吹奏楽のための『風之舞』ほか

【第2部】ポップス・ステージ
・サマー・イン・セントラルパーク
・ど演歌エクスペリス I ほか

【第3部】ステージ・ドリル
・全国大会発表曲
・全道大会発表曲

●問合せ先
恵庭北高校吹奏楽部/瀬野(☎36-8111)

時

会場 子育て支援センター

対象 1歳6カ月までの子どもとその母親

その他 事前に申し込みが必要

■雪あそびしよう

日時 3月12日(水)10時～11時

会場 子育て支援センター

対象 2～3歳の子どもの親

その他 事前に申し込みが必要

問合せ先 子育て支援センター(☎33・0037)

※雪あそびができる服装でお越しください。

■マタニティママのしゃべり場

日時 3月17日(月)13時30分～15時

会場 子育て支援センター

対象 妊娠している人

定員 10人

その他 事前に申し込みが必要

問合せ・申込先 子育て支援センター(☎33・0037)

ムイタクウ え・に・わ



この人に会
いた
い

結成4年目で全国へ。
冬の練習でも子どもたちの
力の入り方が違うんです。

三和 清春さん 島松仲町在住

●みわ・きよはる (54歳)
赤平市出身。北海道高校野球部に所属し、甲子園に2度出場。その後、札幌大学野球部、社会人野球でも活躍した。現在は、市スポーツ課に勤務するかたわら、恵庭リトルシニア球団の監督として子どもたちを指導している。

謝しています」と三和さんは話す。高校時代は野球漬けの毎日。1回戦で敗れたが甲子園に2度出場を果たした。高校卒業後は、大学野球、社会人野球で野球を続けて

中学生を中心とした『恵庭リトルシニア球団』をご存知だろうか。市内唯一の硬式野球のスポーツ少年団だ。恵庭リトルシニア球団は、昨年9月に行われた第34回秋季全道大会新人戦で4位に入賞し、今月27日から大阪市で行われる第14回リトルシニア全国選抜大会に出場する。大会に向け、子どもたちに熱意あふれる指導をしているのは監督の三和清春さんだ。

三和さん自身、根っからの野球少年。甲子園を目指して野球の名門、北海道高校へ進学する。同時に単身、札幌での下宿生活をスタートさせることになったが、初めは、札幌行きを両親に反対されていたという。

「結局は熱意を認めてくれて学費や下宿代などを出してくれました。野球を続けられたのは、両親のおかげです。感

中学生を中心とした『恵庭リトルシニア球団』をご存知だろうか。市内唯一の硬式野球のスポーツ少年団だ。恵庭リトルシニア球団は、昨年9月に行われた第34回秋季全道大会新人戦で4位に入賞し、今月27日から大阪市で行われる第14回リトルシニア全国選抜大会に出場する。大会に向け、子どもたちに熱意あふれる指導をしているのは監督の三和清春さんだ。

三和さん自身、根っからの野球少年。甲子園を目指して野球の名門、北海道高校へ進学する。同時に単身、札幌での下宿生活をスタートさせることになったが、初めは、札幌行きを両親に反対されていたという。

「結局は熱意を認めてくれて学費や下宿代などを出してくれました。野球を続けられたのは、両親のおかげです。感



伝言 でる TEL



自宅にて

おじいちゃん、おばあちゃんへ

「次の休みにになったら、また遊びにい
くね。温泉やご飯を食べにも行きたい
な。たたかいごっこもして、いっぱい
一緒に遊ぼうね。二人で行くから楽し
みに待っててよ」



長岡 里空くん (左) -5歳-

長岡 汰くくん (右) -2歳-

江別のおばあちゃんへ

「お誕生日に泊まりにきてくれてあり
がとう。プレゼントとってもうれしか
ったよ。今度、泊まりに行ったときは、
またお絵かきとかお菓子作りをしたい
な。うちにも遊びにきてね」



堀部 里桜ちゃん (右) -5歳-

堀部 柚奈ちゃん (左) -2歳-



「おにの絵」

植田 真衣 ちゃん (5歳)



「おにの絵」

中村 有希 ちゃん (5歳)



恵み野第2幼稚園児作品 ちびっこギヤラリい*

きた。市に奉職してからも野球を続け、今、自ら結成したチームの監督として指導する立場になった。

恵庭リトルシニア球団は、結成して4年目の若いチームだ。十数年前から、恵庭に硬式野球チームを結成しようという声はあったが、なかなか実現はしなかった。チームを作るには、保護者や周囲の理解と協力、そしてなにより運営母体がいなければならない。そんな中、日本ハムファイターズが北海道に拠点を移すことを知り、チーム結成へ向けた気運が一気に高まった。

「ファイターズが来て、プロ野球が身近になったことが大きいですね。プロを目指したいという子どもたちのために、結成することを決めたんです」と三和さん。

周囲の協力によって練習環境が整い、夏は文教大学のグラウンド、冬は恵庭花園パークゴルフ場のハウス内で練習をしている。

道内のチームにとって、冬に練習ができることはとても大きな意味がある。小学6年生から中学3年生までの時期は、体の成長も技術の習得も著しい時期だからだ。この時期に、どれだけ教えられるかが勝負。だからこそ、指導にも

自然と力が入る。

「練習では、指導する側も受ける側も真剣です。いい加減にすると子どもたちに、すぐ見抜かれてしまいます」と話す三和さんは、日ごろから「あきらめないで継続すること」、「事前準備を怠らないこと」の2つを子どもたちに伝えている。

「野球だけではなく、人生においても必要なことだと思っんです。子どもたちの将来を考えていくのも周りの大人の役割ですからね」と三和さんは笑顔で話す。

いよいよ始まる全国大会。初戦は、同じ初出場の埼玉県熊谷シニア。1試合でも多く勝ちたいと練習を積み重ねている子どもたちの健闘を祈っている。



パークゴルフ場ハウス内での練習の様子。子どもたちは大きな掛け声を掛け合いながら、真剣に練習に励んでいる。

郷土資料館 えにわの宝もの

第八回 く腕用ポンプく

3月7日は消防記念日ですが、恵庭には明治43年に、役場が全焼するという暗い歴史があります。

恵庭における消防の歴史は、大正4年から5年にかけて茂漁、漁、中恵庭、中島松のそれぞれの地区の私設火防組の結成に始まります。火防組は地域の有志により組織され、装備は寄付金によってそろえられたとされています。

写真は『腕用ポンプ』と呼ばれ、島松地区の火防組が結成した大正5年に購入したもので昭和31年まで使用されました。木製の車輪の台車に、真鍮の二本のピストンを持つポンプが乗せられ、ホースやこぎ棒などが装備されています。実際には使用する場合、荷台から降ろし、前後各3人でポンプをこぎ、こぎ手のほかに筒先、筒先補助、機関などを担う人が必要でした。

当時の人たちの村を火災から守るという強い思いは、寄付金をもって装備された私設火防組の結成に見ることができません。



レンズ越しの スケッチ



ティマル市と姉妹都市締結

文化交流と友好のきずな

2月13日、ニュージーランド・ティマル市で恵庭市にとって初めてとなる国際姉妹都市の締結調印式が行われた。ジャーニー・アネア市長と中島市長が、厳かな雰囲気の中で締結調印書に署名し押印。友好のきずなが形となった瞬間だ。

花のまちづくりをきっかけに始まったティマル市と恵庭市の交流。互いの良さを取り入れ、まちづくりを進める。こうしてこれからも新たな友好の歴史をともに創り上げていくことだろう。

編集後記

■ またも大雪が降った。自宅と妻の実家、2軒分の雪かきを終えるまで約3時間。日頃の運動不足解消にはいいと言いつつも体は正直で、腰が痛い。これで、そのまま風呂にでも入れれば言うことないが、編集締切間際の日曜日が恨めしい。(正)

■ 特集の取材で、介護にまつわる苦労を聞かせてもらった。その赤裸々な内容に聞いていて目頭が熱くなった。認知症という重い現実を目をそむけず、明るく向き合う姿勢に感動！我が家にも年老いた母がいる。娘の遊び相手に張り切る姿をいつまでも見せてほしいと願う。(和)

■ 昨年の広報えにわ2月号が北海道広報協会主催の広報コンクールの2部門で特選に選ばれました。毎月、編集後記でホヤキながらも一生懸命に作っている広報誌。多くの人に読んでほしいと作ってきたものが、評価されると本当にうれしい！これからも頑張りますので、応援をお願いします。(郁)

■ 表紙の写真は、えこりん村で行われた「雪んこまつり」の会場で撮影。バイオディーゼルの走るトラクターに引っ張られてみんな楽しそう。

●人の動き● 平成20年1月末現在。()は前月比

人口	男	女	世帯	外国人登録者数
68,600(-2)	33,841(-23)	34,759(+21)	29,321(+7)	199(-7)

●編集・発行●

恵庭市役所 企画財政部 広報広報課

〒061-1498 北海道恵庭市京町1番地 / ☎0123-33-3131 (内線2361)

ホームページ <http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/>

Eメール kouhoukoucyou@city.eniwa.hokkaido.jp

■印刷 / (有)清光舎水野印刷

この広報誌は再生紙を使用しています。
※広報誌に使用している再生紙の古紙配合率について調査の結果、配合率が15~35%であることが判明しました。今後発行する広報誌の配合率も一定にならないことから、再生紙を使用していることを表示します。



広報ENIWA 2008.3

■通 巻 668号